

古典籍総合データベース公開と展覧会

松下 眞也（調査役）

早稲田大学図書館の「古典籍総合データベース」構築事業は、5年計画のうち2年度を終了し、おおむね順調に推移している。

2007年3月14日現在で、全体の約28万冊の3分の1弱にあたる約8万冊(書誌件数約26,000件)の書誌データ作成を終え、撮影累計は約120万カットに達している。分野としては、自然科学(理学、工学、医学など) 文学、語学、社会、法律、政治、経済などの分類をほぼ終え、稀覯資料の多い特殊コレクションである「洋学文庫」、「曲亭叢書」、「西垣文庫」も終わって、現在、「芸術」の分類の貴重書にかかっているところである。

上記分野のうち、まだ書誌データの点検が終わらないもの、撮影が終了していないもの、画像データと書誌データのマッチングがされていない部分もかなりあり、現在その分類のすべての古典籍資料が画面にあらわれているわけではないが、順次反映されてくるであろう。このほかに古典籍とは一応別枠として、「大隈文書」の書誌データ入力終了しており、撮影も急ピッチで進められている。

2007年度は、歴史、伝記に属する資料を中心に、「荻野研究室収集文書」をはじめいくつかの特殊文庫・コレクションの入力を予定している。

当データベースは関係各方面からも認知され、期待の声が寄せられている。筆者は、2006年6月に、依頼を受けて国立国会図書館において本データベースの構築につき講演をおこなったが、100名ちかい聴衆が集まり、講演後の質問も多く、また関西館へも同時中継されるなど、なみなみならぬ関心がうかがわれた。また同年11月には、カリフォルニア大学パークレー校東アジア図書館の石松久幸氏が来校して、同校で構築する三井文庫旧蔵日本古地図のデジタル化について講演し、そのあと筆者が、本データベース化プロジェクトの現況について報告するという「国際シンポジウム」も行われた。ほかにも、国内外の種々の機関からの問い合わせが相次いでいる。

これまで、貴重書庫、古書資料書庫に保管され

たまま、事実上、死蔵といってもよい状態にあったあまたの古書・貴重書が、一点一点手にとってひらかれ、原本から採録された書誌データによって新たにWINEに登録され、一丁(見開き)ずつ撮影された全文の精細画像が書誌データにリンクされる。図書館にとっても、資料にとっても画期的なことが、いまま日々超スピードで進められているのである。

2005年12月に、「洋学文庫」を中心として最初に本データベースを公開した際、記念として、主要な洋学資料を出陳して展覧会を開催し、好評を得た。本年度も展示部会とタイアップする形で、いくつかの記念展覧会を催したので、ここでは、それをあわせて以下に報告したい。

双六 近代日本の人生ゲーム

会期 2006.10.20(金)~11.21(火)

会場 総合学術情報センター展示室

忘れられた遊び「すごろく」に焦点をあて、幕末から明治、大正、昭和初期にかけて時代の雰囲気をつたえる「絵双六」約40点を出品。なお出品資料を含む館蔵の双六全品は既に書誌データ、画像データとも完成し、古典籍総合データベースに入っている。Googleからも容易に検索され外部からの問い合わせも多い。

「なつかしい」という高齢の観覧者ばかりでな



少女思ひ出すごろく



八犬伝狗之草幣（双六）

く、学生からも「絵がかわいい」「色がきれい」「当時の遊びはいまとちがうが面白い」などの感想が寄せられ、きわめて好評だった。

古典籍総合データベース公開記念

曲亭馬琴と江戸の文人たち

会期 2007.1.25（木）～2.28（水）

会場 総合学術情報センター展示室

古典籍総合データベース「文学」の部のデータ公開（2006.11～）を記念して開催。早稲田大学図書館のひとつの特徴ともなっている江戸文学の資料を展示した。とくに「曲亭叢書」は、饗庭篁村が馬琴の遺族より入手したものを、坪内逍遙が当時の市島春城図書館長にすすめて買い取らせたも



南総里見八犬伝原稿

ので、名高い『南総里見八犬伝』第九輯末尾の、馬琴失明後の口授原稿部分を含む貴重なものである。早稲田ならではの贅沢な展示で、一ヶ月間以上開催したにもかかわらずまだ延長を望む声もあり、好評であった。なおこの会場内に端末を設置し、展覧会を見ながら古典籍総合データベースを検索できるようにしたがこれも好評を得た。

早稲田大学創立125周年記念

早稲田ゆかりの人々 田中光顕

会期 2007.3.23（金）～5.10（木）

会場 総合学術情報センター展示室

早稲田大学に2点の国宝、1件の重要文化財、さらに、それらに勝るとも劣らぬ貴重な維新の志士たちの墨蹟約180点を寄贈した、校寶第一号である伯爵田中光顕（1843-1939）についての展覧会。国宝『礼記子本疏義』一卷（唐代写本）同『玉篇』一卷（唐代写本）重要文化財『東大寺薬師院文書』（天平時代古文書）といった貴重な文化財を、幕末維新に奔走した志士たちの遺墨が囲む。全期間、国宝・重文はレプリカでなく原本を展示する。日・祝日以外午後六時まで。



田中光顕肖像（部分）島田墨仙画
絹本彩色 1軸 手3 - 3535 - 154